



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 **ダイダン株式会社** 上場取引所 **東**  
 コード番号 **1980** URL <http://www.daidan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) **代表取締役社長執行役員** (氏名) **北野 晶平**  
 問合せ先責任者 (役職名) **取締役執行役員業務本部長** (氏名) **池田 隆之** TEL **06-6447-8003**  
 四半期報告書提出予定日 **平成27年11月9日** 配当支払開始予定日 **平成27年12月1日**  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **無**  
 四半期決算説明会開催の有無 : **有**

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	61,235	12.1	2,382	50.3	2,535	43.0	1,572	68.9
27年3月期第2四半期	54,639	△1.9	1,585	57.2	1,772	47.2	930	199.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 979百万円 (△40.4%) 27年3月期第2四半期 1,642百万円 (△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.25	—
27年3月期第2四半期	20.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	110,063	53,993	48.8	1,205.37
27年3月期	113,440	53,462	46.9	1,193.61

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 53,757百万円 27年3月期 53,236百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	10.0	5,300	16.6	5,300	8.7	3,200	9.5	71.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 予想受注工事高 「通期」 136,000百万円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3の「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	45,963,803株	27年3月期	45,963,803株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,365,690株	27年3月期	1,362,322株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	44,599,703株	27年3月期2Q	44,606,550株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成28年3月期の個別業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	10.3	5,300	17.4	5,300	11.3	3,200	12.3	71.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 予想受注工事高「通期」135,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
4. 補足情報 .....	10
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結） .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、良好な企業収益や個人消費に持ち直しの兆しが見られた一方、中国の景気減速に対する懸念から、大規模な世界同時株安の影響を受けるなど、不安定な状態が続きました。

建設業界におきましては、企業収益の改善に伴い、景気の好循環が作動しはじめるなかで、民間設備投資が本格回復すると期待されましたが、底堅くは推移するものの、力強さには欠けるものとなりました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダグン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、前年同四半期連結累計期間比2,152百万円減の71,968百万円となりました。

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比6,595百万円増の61,235百万円となりました。

完成工事総利益は、前年同四半期連結累計期間比629百万円増の7,248百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益が増加したことを受け、前年同四半期連結累計期間比797百万円増の2,382百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間に生じた為替差益40百万円が、当第2四半期連結累計期間においては、為替差損22百万円に転じたものの、営業利益の増加及び受取配当金139百万円等が発生したことを受け、前年同四半期連結累計期間比762百万円増の2,535百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、特別利益として、独占禁止法関連損失引当金戻入益47百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比641百万円増の1,572百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は77,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,931百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少(2,899百万円)及び受取手形・完成工事未収入金の減少(392百万円)等が、未成工事支出金の増加(643百万円)等を上回ったことによるものです。固定資産は32,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ445百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券の減少(818百万円)等が、退職給付に係る資産の増加(277百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、総資産は110,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,377百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は49,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,260百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(3,976百万円)、未払法人税等の減少(509百万円)等によるものです。固定負債は7,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少(332百万円)、環境対策引当金の減少(107百万円)、繰延税金負債の減少(97百万円)等によるものです。

この結果、負債合計は56,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,908百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は53,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(1,572百万円)が、その他有価証券評価差額金の減少(539百万円)及び剰余金の配当(446百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は48.8%(前連結会計年度末は46.9%)となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,899百万円減少し、21,459百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は2,204百万円（前年同四半期連結累計期間は3,965百万円の資金の増加）となりました。主な要因は、仕入債務の減少等の資金の減少要因が、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加等の資金の増加要因を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は234百万円（前年同四半期連結累計期間は190百万円の資金の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は424百万円（前年同四半期連結累計期間は115百万円の資金の減少）となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績および受注状況等を勘案し、受注工事高は前回平成27年5月12日公表の131,000百万円から5,000百万円増の136,000百万円に、完成工事高は前回公表の131,000百万円から3,000百万円増の134,000百万円に修正しております。

利益面につきましては、完成工事高の増加に伴い、営業利益は前回公表の5,000百万円から300百万円増の5,300百万円、経常利益は前回公表の5,000百万円から300百万円増の5,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表の2,800百万円から400百万円増の3,200百万円にそれぞれ修正しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,385	21,486
受取手形・完成工事未収入金	52,802	52,409
未成工事支出金	424	1,067
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,278	901
その他	1,945	2,040
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	80,831	77,899
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	3,919	3,955
無形固定資産	156	207
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	17,494	16,675
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	9,633	9,910
その他	1,595	1,601
貸倒引当金	△190	△188
投資その他の資産合計	28,533	28,000
固定資産合計	32,609	32,163
資産合計	113,440	110,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	37,937	33,960
短期借入金	4,379	4,735
未払法人税等	990	480
未成工事受入金	1,500	1,718
賞与引当金	—	1,625
役員賞与引当金	—	35
完成工事補償引当金	85	84
工事損失引当金	480	378
独占禁止法関連損失引当金	390	342
環境対策引当金	—	2
その他	6,550	5,687
流動負債合計	52,312	49,052
固定負債		
長期借入金	1,583	1,251
繰延税金負債	4,237	4,139
退職給付に係る負債	1,377	1,313
環境対策引当金	107	—
海外投資損失引当金	6	9
長期未払金	352	303
その他	0	0
固定負債合計	7,665	7,017
負債合計	59,978	56,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	36,186	37,313
自己株式	△669	△672
株主資本合計	44,807	45,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,797	6,258
為替換算調整勘定	39	37
退職給付に係る調整累計額	1,592	1,531
その他の包括利益累計額合計	8,429	7,826
非支配株主持分	225	236
純資産合計	53,462	53,993
負債純資産合計	113,440	110,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
完成工事高	54,639	61,235
完成工事原価	48,020	53,986
完成工事総利益	6,619	7,248
販売費及び一般管理費	5,034	4,866
営業利益	1,585	2,382
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	118	139
受取保険料	96	94
為替差益	40	—
その他	18	21
営業外収益合計	281	262
営業外費用		
支払利息	82	71
支払保証料	3	6
為替差損	—	22
その他	8	8
営業外費用合計	93	109
経常利益	1,772	2,535
特別利益		
固定資産売却益	1	1
独占禁止法関連損失引当金戻入益	—	47
特別利益合計	1	49
特別損失		
減損損失	5	—
固定資産除却損	10	1
投資有価証券評価損	5	17
ゴルフ会員権評価損	0	2
独占禁止法関連損失引当金繰入額	113	—
特別損失合計	136	20
税金等調整前四半期純利益	1,637	2,563
法人税、住民税及び事業税	537	405
法人税等調整額	160	573
法人税等合計	697	978
四半期純利益	939	1,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	930	1,572

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	939	1,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	667	△539
為替換算調整勘定	△17	△5
退職給付に係る調整額	52	△60
その他の包括利益合計	702	△605
四半期包括利益	1,642	979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,638	969
非支配株主に係る四半期包括利益	4	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,637	2,563
減価償却費	181	137
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△473	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	△55
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△105
海外投資損失引当金の増減額(△は減少)	△5	2
受取利息及び受取配当金	△125	△146
支払利息	82	71
投資有価証券評価損益(△は益)	5	17
固定資産売却損益(△は益)	△1	△1
減損損失	5	—
独占禁止法関連損失引当金の増減額(△は減少)	113	△47
固定資産除却損	10	1
ゴルフ会員権評価損	0	2
売上債権の増減額(△は増加)	15,126	392
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△807	△643
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△554	△65
その他の固定資産の増減額(△は増加)	—	4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△193	△377
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,262	△3,976
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△476	217
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△995	694
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△48
小計	5,254	△1,364
利息及び配当金の受取額	125	146
利息の支払額	△83	△71
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,332	△914
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,965	△2,204
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△98	△147
有形固定資産の売却による収入	3	1
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	1
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他の固定資産の取得による支出	△118	△104
その他の固定資産の売却による収入	23	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190	△234

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	18,120	18,380
短期借入金の返済による支出	△18,220	△17,880
長期借入れによる収入	1,400	600
長期借入金の返済による支出	△1,058	△1,075
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△356	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	△35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,692	△2,899
現金及び現金同等物の期首残高	24,598	24,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,291	21,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高 (連結)

(単位:百万円)

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	構成比%
受注 工事 高	電気工事	17,998	24.3	15,548	21.6	30,235	23.0
	空調工事	40,143	54.2	42,001	58.4	72,122	54.8
	水道衛生工事	15,977	21.5	14,417	20.0	29,275	22.2
	合計	74,120	100.0	71,968	100.0	131,633	100.0
	(リニューアル工事)	34,738	46.9	40,732	56.6	63,987	48.6
	(海外工事)	6,077	8.2	2,438	3.4	9,929	7.5
完成 工事 高	電気工事	10,645	19.5	13,949	22.8	26,076	21.4
	空調工事	32,727	59.9	33,622	54.9	71,245	58.5
	水道衛生工事	11,266	20.6	13,663	22.3	24,458	20.1
	合計	54,639	100.0	61,235	100.0	121,780	100.0
	(リニューアル工事)	27,095	49.6	31,781	51.9	63,383	52.0
	(海外工事)	4,041	7.4	5,127	8.4	9,718	8.0
繰越 工事 高	電気工事	20,723	20.2	19,129	18.5	17,530	19.0
	空調工事	59,337	58.1	61,176	59.2	52,797	57.0
	水道衛生工事	22,136	21.7	22,996	22.3	22,241	24.0
	合計	102,197	100.0	103,302	100.0	92,569	100.0
	(リニューアル工事)	34,307	33.6	36,220	35.1	27,268	29.5
	(海外工事)	9,888	9.7	5,374	5.2	8,063	8.7